

# N

# F

# C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

アンコール特集:

1995-2004年度の上映作品より

Back by Popular Demand:  
From the Programs of 1995-2004

2010年1月30日(土) - 2月12日(金)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

お知らせ

建物の改修事に伴い、2月と3月の休映日・休館日が下記のように変更となります。

毎週月曜日

2月13日(土)-14日(日)

2月15日(月)-16日(火)

2月17日(水)-19日(金)

3月21日(日)-28日(日)

3月29日(月)-4月5日(月)

また、2010年1月30日(土)-2月19日(金)に予定していた「映画監督 吉田喜重」は開催を延期いたします。何卒ご了承下さい。

休館

映画の上映はありません

休館

映画の上映はありません

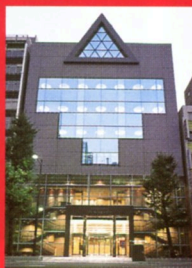
映画の上映はありません

休館

東京国立近代美術館フィルムセンター

**National Film Center**

The National Museum of Modern Art, Tokyo



# アンコール特集

1995-2004年度の上映作品より

日本が誇る監督やスターの代表作から、海外で発掘された幻のフィルム、隠れた日本映画の名作まで……  
人気を集めたフィルムセンターの上映作品が再び大ホールのスクリーンに甦ります。

2010

2

NFCカレンダー  
2010年2月号

# 大ホール 上映作品

アンコール特集：1995-  
2004年度の上映作品より  
Back by Popular Demand: From  
the Programs of 1995-2004

2010年、フィルムセンターは1970年の開館から40年、そしてビルの建て替えに伴いリニューアル・オープンした1995年から数えて15年目を迎えます。この機会に開催される本「アンコール特集」は、過去の上映企画で特に多数のお客様にご来場いただき人気を博した作品をプログラムして再上映するもので、とくに今回は2006年以降恒例の企画としてご好評をいただいている「アンコール特集」でも取り上げられることになった1995年度から2004年度までの上映作品が対象となります。

監督・木下恵介や女優・高峰秀子など日本が誇る映画人の代表作から、ロシアの Gosfilmofond で見つけたり話題を呼んだ幻の日本映画、シリーズ「日本映画の発見」で紹介された隠れた名作まで、計19本(18プログラム)の作品が再びフィルムセンター大ホールのスクリーンに甦ります。

ぜひこの機会をお見逃しなく。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

- 監=監督 原=原作・原案 脚=脚本 撮=撮影
- 美=美術 音=音楽 出=出演 解=解説・ナレーション
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

1 1/30(土)11:00am 2/9(火)4:00pm

鏢鳴浪人 (52分・35mm・白黒)

續 鏢鳴浪人 (70分・35mm・白黒)

▶「発掘された映画たち2001：ロシア・Gosfilmofondで発見された日本映画」(2001年3月)より

正月興行に向けて作られた阪東妻三郎主演の痛快時代劇。幕末、蝦夷地を抵当に外国から資金を得ようとした幕府の約定書をめぐる謎と追跡の物語。居留白人、中国人、幕府抱医師、志士などが「三つ目の狼」を追って激しく争う。助演に沢村国太郎、原健作、市川春代を配し、当時の日活時代劇の厚みを感じさせる。敵役の外国人に扮した上田吉二郎、志村喬の演技も見もの。

'39-40(日活)◎荒井良平◎角田喜久雄◎比佐芳武◎松村禎三、荒木朝二◎西梧郎◎阪東妻三郎、澤村国太郎、原健作、瀬川路三郎、志村喬、上田吉二郎、仁禮功太郎、片岡市女蔵、瀬戸一司、岡田薫久平、武林大八郎、岬弦太郎、谷譲二、市川春代、小林叶江、川上朱實

2 1/30(土)2:00pm 2/12(金)1:00pm

北極光 (108分・35mm・白黒)

▶「発掘された映画たち2001：ロシア・Gosfilmofondで発見された日本映画」(2001年3月)より

樺太における豊原(ユジノサハリンスク)―真岡(ホルムスク)間の豊真鉄道敷設工事を背景に描いた、新興キネマのメロドラマ大作。1921年から28年にかけて行われた実際の工事に材を採っている。田中重雄監督は自在に俳優を操り、大掛かりな現地ロケーション撮影を行いつつ、悠々と物語を組み立てている。撮影の青島順一郎は、日活向島時代の溝口健二と組んだ名キメラマン。

'41(新興東京)◎田中重雄◎村田上元◎小柴幹治、美鳩まり、青島順一郎◎植田種彦◎横田昌久◎三原三郎◎新藤兼人◎平井岐代子、原聖四郎、葛城文子、真山くみ子、新田実、黒田記代、加藤精一、岩田祐吉、淡島みどり、逢初夢子、山口勇、上田寛、若原雅夫、浦辺桑子、原不二男、鳥橋一平、植村謙二郎



鏢鳴浪人



北極光

3 1/30(土)5:00pm 2/10(水)1:00pm

狼火は上海に揚る (65分・35mm・白黒)

▶「発掘された映画たち2001：ロシア・Gosfilmofondで発見された日本映画」(2001年3月)より

戦時体制下で製作された大映と中華電影の合作映画で、大規模な上海ロケを敢行した当時の話題作である。長州の志士、高杉晋作(阪妻)が上海で、英国の横暴やそれに対抗する太平天国の乱を目の当たりにし、攘夷思想(反欧米)を固めるという内容ではあるが、稲垣監督の巧みな演出指導と日中の豪華キャストが彩るスケールの大きな作品となっている。

'44(大映=中華電影)◎稲垣浩、岳楓◎八尋不二◎青島順一郎、高橋武則、黄紹芬◎角井平吉◎西梧郎、梁楽音◎阪東妻三郎、月形竜之介、石黒達也、梅薫、李麗華、王丹鳳

4 1/31(日)11:00am 2/10(水)4:00pm

三百六十五夜【総集篇】

(119分・35mm・白黒)

▶「映画監督 市川崑」(2003年8-9月)、「映画女優 高峰秀子」(2004年9-11月)より

主題歌「三百六十五夜」の流行とともに、市川監督の名を映画界に印象づけたメロドラマの大ヒット。当初は「東京篇」「大阪篇」の2部作だったが、現存するのはこの総集篇のみ。セットや登場人物の所作にはアメリカ映画の影響も感じられる。高峰は新興成金の娘を演じている。

'48(新東宝)◎市川崑◎小島政二郎◎館岡謙之助◎三村明◎進藤謙吾◎服部正◎上原謙、山根壽子、高峰秀子、大日方博、堀雄二、田中春男、鳥羽陽之助、清川荘司、河村黎吉、三村秀子、吉川満子、一の宮あつ子、葉村みき子、二葉あき子、江見渉、三原純

5 1/31(日)2:00pm 2/12(金)7:00pm

破戒 (99分・35mm・白黒)

▶「偉大なる“K”」(3)：木下恵介」(2000年8-11月)より

東宝が争議のために松竹へ企画ごと譲ったもので、東西撮影所交流の第1作として木下が京都で撮った作品。木下はあえて原作を読まず、部落差別問題よりも恋人たちの苦悩の描写に重点を置き、細やかな自然描写とともにみずみずしい青春映画に仕上げた。『肖像』の娘役で木下がデビューさせた桂木洋子が恋人の志保を演じる。この年の3作品で、木下は毎日映画コンクール監督賞を初受賞した。

'48(松竹京都)◎木下恵介◎島崎藤村◎久板栄二郎◎楠田浩之◎本木勇◎木下忠司◎池部良、桂木洋子、瀧澤修、宇野重吉、清水将夫、加藤嘉、小澤栄太郎、東野英治郎、東山千栄子、村瀬幸子、薄田研二、菅井一郎、山内明

6 1/31(日)5:00pm 2/9(火)1:00pm

破れ太鼓 (108分・35mm・白黒)

▶「偉大なる“K”」(3)：木下恵介」(2000年8-11月)より

GHQが立廻りを禁止したため活躍の場を失っていた時代劇の重鎮・阪妻を、「破れ太鼓」とあだ名される昔気質の父親に起用した木下監督の喜劇。息子の田村高廣は「家にいる時の親父そのままだ、監督はどうして知ったのだろう」と感嘆したという。表向きのテーマは家庭の民主化だが、長男、長女、妻に家出され、会社まで潰した失意の父を励ます人々の暖かさも本作の魅力となっている。

'49(松竹京都)◎木下恵介◎小林正樹◎楠田浩之◎小島基司◎木下忠司◎阪東妻三郎、村瀬幸子、森雅之、大泉滉、小林トシ子、桂木洋子、大塚正義、澤村貞子、宇野重吉、滝澤修、東山千栄子、小澤栄、永田光男、青山宏、山崎敏夫、村上記代、桑原澄江、賀原夏子、中田耕二、大川温子、向井弘子、玉島愛造



破れ太鼓

7 2/2(火)1:00pm 2/6(土)2:00pm

善魔(108分・35mm・白黒)

▶「偉大なる“K”(3)：木下恵介」(2000年8-11月)より離婚問題に悩む官僚の妻(淡島)と病身のその妹(桂木)に、新聞社の部長(森)と記者(三国)がそれぞれ想いを寄せる。世代の違う二組の恋は、一方は男の愛人(小林)への同情から断念され、他方は死体との結婚という形で成就する。魔的なまでのエネルギーをもつ善人、魔性の善を意味する「善魔」という観念を、映画初出演の三国連太郎が体現し、以後も本作の役名を芸名とすることになった。

'51(松竹大船)◎木下恵介◎岸田国士◎野田高梧◎楠田浩之◎浜田辰雄◎木下忠司◎森雅之、淡島千景、三国連太郎、桂木洋子、笠智衆、千田是也、小林トシ子、楠田薫、岡岡晋、宮口精二、北龍二、長尾敏之助、前畑正美

8 2/2(火)4:00pm 2/7(日)11:00am

雁(104分・35mm・白黒)

▶「映画女優 高峰秀子」(2004年9-11月)より

森鷗外の長篇小説が原作。成澤により脚色された本作は、父を養うため高利貸しの妾となった娘・お玉(高峰)に焦点をしばったものとなっている。原作に劣らぬ薫り高い秀作と評され、興行的にも大ヒットし、戦中から長いスランプに陥っていた豊田は戦後の名声を高めるきっかけとなった。

'53(大映東京)◎豊田四郎◎森鷗外◎成澤昌茂◎三浦光雄◎伊藤薫◎團伊玖磨◎高峰秀子、芥川比呂志、宇野重吉、東野英治郎、飯田蝶子、田中榮三、浦邊粂子、小田切みき、三宅邦子、伊達正

9 2/2(火)7:00pm 2/11(木)1:30pm

日本橋(111分・35mm・カラー)

▶「映画監督 市川崑」(2003年8-9月)より

淡島千景と山本富士子、芸者に扮した二人の美人女優がしのぎを削る、泉鏡花の新派劇の映画化。市川監督初のカラー作品。書き割りを意識した背景、路地のセットなど、監督の創意と大映京都撮影所の技術力が結集した美術も圧巻。また色彩指導と時代考証には美人画家の岩田専太郎も参加した。

'56(大映京都)◎市川崑◎泉鏡花◎和田夏十◎渡辺公夫◎柴田篤二◎宅孝二◎淡島千景、若尾文子、山本富士子、品川隆二、川口浩、柳永二郎、船越英二、浦辺粂子、沢村貞子、岸輝子、平井岐代子、潮万太郎、伊東光一、小原利之、高村栄一、伊達正、小杉光史、杉寛

10 2/3(水)1:00pm 2/9(火)7:00pm

暴れん坊街道(95分・35mm・白黒)

▶「日本映画の発見V：栄光の'50年代」(1999年4-10月)より

重野と与作は許されぬ恋ゆえ引き裂かれ、子までも手放すが、やがて宿場町で皮肉な再会を果たす。内田吐夢監督が「滋野井の子別れ」として親しまれている近松門左衛門の原作に挑戦した意欲作品。重野役の山田と与作役の佐野の好演が光る。脚本は溝口作品で知られる依田義賢が執筆。

'57(東映京都)◎内田吐夢◎近松門左衛門(監)◎平田兼三◎依田義賢◎吉田貞次◎鈴木孝俊◎深井史郎◎佐野周二、植木基晴、山田五十鈴、薄田研二、千原しのぶ、進藤英太郎、松浦築枝、丘さとみ、毛利菊枝、吉田義夫、高松錦之助、堀正夫



雁

11 2/3(水)4:00pm 2/6(土)5:00pm

暗黒街の美女(87分・35mm・白黒)

▶「日本映画の発見V：栄光の'50年代」(1999年4-10月)より

監督が鈴木清順の名で発表した第1作。初のワイド作品(日活スコープ)で、横長な画面を巧みに生かしく高く評価された。前年の「裸女と拳銃」に続く水島道太郎＝白木マリ・コンビによる犯罪劇。宝石が地下道から死体、マネキン、そして火中へと移動するアイデアが秀逸。

'58(日活)◎鈴木清順◎佐治乾◎中尾利太郎◎坂口武彦◎山本直純◎水島道太郎、白木マリ、二谷英明、芦田伸介、近藤宏、高品格、安部徹、加原武門、雪江恵介、宮崎準、深江草喜、高野誠二郎、山田禪二、雨宮節子

12 2/3(水)7:00pm 2/6(土)11:00am

駅前旅館(109分・35mm・カラー)

▶「日本映画の発見VI：1960年代」(2001年5-10月)より

東宝の「社長もの」と人気を二分した「駅前シリーズ」の記念すべき第1作。上野の老舗旅館を舞台に、駅前の浄化運動に乗り出す番頭(森繁)、ライバル旅館の番頭(伴)、料理屋の女主人(淡島)といった芸達者たちが繰り広げるにぎやかな風俗喜劇の秀作。その後、場所と人物設定を変えつつ10年間に24作品が作られた。

'58(東京映画)◎豊田四郎◎井伏鱒二◎八住利雄◎安本淳◎松山崇◎團伊玖磨◎森繁久彌、フランキー堺、伴淳三郎、淡島千景、草笛光子、淡路恵子、藤木悠、多々良純、左ト全、森川信、山茶花究、三井美奈、浪花千栄子

13 2/4(木)1:00pm 2/12(金)4:00pm

旗本退屈男(108分・35mm・カラー)

▶「日本映画の発見V：栄光の'50年代」(1999年4-10月)より

右太衛門の映画出演300本目を記念する東映オールスター作品。右太衛門が1930年から演じ続けたヒーロー・旗本退屈男のシリーズにおける、いわば決定版で、退屈男の衣裳も一層豪華なものとなっている。民意と家臣たちの様子を窺うべく仕組んだ伊達の名君の方策に退屈男が一役買う。

'58(東映京都)◎松田定次◎佐々木味津三◎比佐芳武◎川崎新太郎◎川島泰三◎深井史郎◎市川右太衛門、中村錦之助、大川橋蔵、片岡千恵蔵、東千代之介、大友柳太朗、大河内傳次郎、月形龍之介、里見浩太郎、北大路欣也、長谷川裕見子、花柳小菊、千原しのぶ、丘さとみ

14 2/4(木)4:00pm 2/10(水)7:00pm

女が階段を上る時(111分・35mm・白黒)

▶「映画女優 高峰秀子」(2004年9-11月)より

夫に先立たれた銀座の高級バーで雇われママとして働く女(高峰)。新しい店を持ったものの、エゴの強い男たちに囲まれ、流されてゆく姿が一人称のナレーションで綴られる。玉井カメラマンは銀座のバーの構造を丁寧に調査して撮影に臨み、衣裳は高峰秀子自らが担当した。

'60(東宝)◎成瀬巳喜男◎菊島隆三◎玉井正夫◎中古智◎黛敏郎◎高峰秀子、森雅之、団令子、仲代達矢、加東大介、中村鷹治郎、小沢栄太郎、淡路恵子、山茶花究、多々良純、藤木悠、織田政雄、三津田健、細川ちか子、沢村貞子



旗本退屈男

15 2/4(木)7:00pm 2/7(日)2:00pm

華岡青洲の妻(99分・35mm・白黒)

▶「映画女優 高峰秀子」(2004年9-11月)より

麻酔の研究に没頭する青洲(市川)。その人体実験の被験者に志願する妻(若尾)と母(高峰)の激しい葛藤が描かれる。高峰は、有吉佐和子の小説群を「バズーカ砲の如き強烈な破壊力」と評したが、本作はまさにその重厚な構想力と新藤の繊細な人物造型、増村の鋭利な演出が三つ巴になって生み出されたものといえる。

'67(大映京都)◎増村保造◎有吉佐和子◎新藤兼人◎小林節雄◎西岡善信◎林光◎市川雷蔵、若尾文子、高峰秀子、伊藤雄之助、渡辺美佐子、丹阿弥谷津子、原知佐子、浪花千栄子、内藤武敏、伊達三郎、田武謙三、木村玄、南部彰三、舟木洋一◎杉村春子

16 2/5(金)1:00pm 2/7(日)5:00pm

なみだ川(79分・35mm・カラー)

▶「日本映画の発見VI：1960年代」(2001年5-10月)より

山本周五郎の「おたふく物語」を依田義賢がシナリオ化し、三隅研次が監督した好篇。江戸日本橋、はせがわ町に、おしずとおたかという姉妹が病床の父を支えながらつつましく暮らしていた。おたかの結婚話を進めるために、おしずがついた一つの嘘が思わぬ波紋を呼んでいく。対照的な性格の姉妹と周囲の人情がきめ細やかに描かれている。

'67(大映京都)◎三隅研次◎山本周五郎◎依田義賢◎牧浦地志◎内藤昭◎小杉太一◎藤村志保、若柳菊、細川俊之、戸浦六宏、藤原釜足、安部徹、玉川良一、塩崎純男、春本泰男、水原浩一、町田博子

17 2/5(金)4:00pm 2/11(木)11:00am

ひとり狼(83分・35mm・カラー)

▶「日本映画の発見VI：1960年代」(2001年5-10月)より

腕っ節も強く度胸もあるが、どこか謎めいた影のある渡世人、人斬り伊三蔵。旅暮らしを続ける彼には、三州に心を残した女がいた。苦しい出でもある、その女の暮らしを見とどけようとしたのだが…。池広一夫監督がスタイリッシュな映像で描き、市川雷蔵がクールに演じてみせた股旅もの名作。大映京都撮影所の技術陣の力量も見逃せない。

'68(大映京都)◎池広一夫◎村上元三◎直居欽哉◎今井ひろし◎太田誠一◎渡辺岳夫◎市川雷蔵、小川真由美、長門勇、長谷川明男、岩崎加根子、小池朝雄、浜村純、内田朝雄、丹阿弥谷津子、伊達三郎、新田昌玄

18 2/5(金)7:00pm 2/11(木)4:30pm

日本暗殺秘録(142分・35mm・カラー)

▶「日本映画の発見VI：1960年代」(2001年5-10月)より

「やくざ映画全盛のさなか、こんな(危険)な企画がどうして生まれたのか、いまもって不思議」(笠原和夫)な異色のオールスター大作。血盟団事件と二・二六事件を主軸に、日本近代100年のテロリストたちをオムニバス形式で描く。衝撃の冒頭シーンから息もつかせぬ怒涛の描写で時代の情念をすくい上げる。

'69(東映京都)◎中島貞夫◎鈴木正樹◎笠原和夫◎吉田貞次◎鈴木孝俊◎富田勲◎片岡千恵蔵、千葉真一、田宮二郎、藤純子、若山富三郎、高倉健、鶴田浩二、菅原文太、吉田輝雄、待田京介、桜町弘子◎芥川比呂志



ひとり狼

月	火	水	木	金	土	日
1月	25	26	27	28	29	30
映画監督 大島渚 2010年1月5日(火)ー29日(金)						
1月	1	2	3	4	5	6
1月	7	8	9	10	11	12
2月	1	2	3	4	5	6
2月	7	8	9	10	11	12
2月	13	14	15	16	17	18
2月	19	20	21	22	23	24
映画監督 篠田正浩 2010年2月20日(土)ー3月20日(土)						

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

展示室(7階)

【企画展】

戦後フランス映画ポスターの世界

—東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵(新外映コレクション)より

Postwar French Cinema in Posters

— From the Shingaei Collection of the National Film Center

ヌーヴェルヴァーグ作品をはじめ、戦後の日本に数々の優れたヨーロッパ映画を届けた映画配給会社、新外映がかつて所蔵していたフランス映画のオリジナル・ポスターを一挙に公開します。

【第1期】2010年1月7日(火)ー2月14日(日)

【第2期】2月17日(火)ー3月28日(日)

\*月曜日は休室



『女は女である』ポスター

【常設展】企画展に併設

展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

開室時間=午前11時—午後6時30分(入場は午後6時まで)  
料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

\* ( )内は20名以上の団体料金です。

\* 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。

\* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

図書室カレンダー

赤字は休室日

2月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

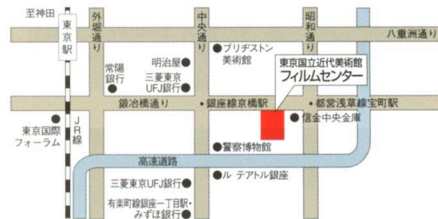
図書室(4階)

開室=火曜日—土曜日(午後0時30分—午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

